

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになつたことと思います。

さて、昨年を振り返りますと、私自身、体調面で思うように動けない一年となつてしましました。特に七月末からは腹部の不調により二週間ほど入院することとなり、その後も体調が万全とは言えず、会の活動に十分参加できなかつたことを、大変心苦しく思つております。現在も毎日車いすに乗れる状態ではなく、自宅療養に専念している状況です。

そのような中、十一月に綾瀬市民スポーツセンターで開催された「第十四回福祉レクリエーション大会」および「ボランティア連絡協議会との交流会」では、何とか午前中のレクリエーション大会に参加することができ、総会以来となる会員の皆さまのお元気なお姿にお目にかかるたることは、私にとつて大きな励みとなつりました。

新しい年は、体調の回復を第一に考えながら、一日も早く元気を取り戻して、再び会の活動にしつかりと関わつていけることを願つております。



西川和朗

本年が皆さまにとつて、健やかで明るい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

A wide-angle photograph of a large indoor sports hall. Numerous people are gathered, mostly in groups. Many individuals are wearing blue tracksuits with white stripes on the sleeves, suggesting a team or club. In the center-left, a person in a wheelchair is being assisted by others. The gymnasium has wooden walls and a polished wooden floor with a green and yellow striped pattern. In the background, there are large wooden doors and a white table with various items on it.

令和七年十一月八日（土）、秋晴
の空のもと、綾瀬市IMURO GLASS
市民スポーツセンターの体育館で、
社会福祉協議会主催の「第十六回福
祉レクリエーション大会」が開催さ
れました。毎年恒例のこのイベント、
今年も元気いっぱいにスタートです！

からも温かいお言葉をいただきました。その後、
軽いストレッチで体をほぐして競技が始まりました。
なお、来賓ではありませんが、綾瀬市もホームタウンにしているサッカーJ3のSC相模原のマスコットのガミティがゲストとして応援に来てくださいました。

鈴木社会福祉協議会会長のご挨拶に続き、来賓の橘川市長、吉議会議長、県議会議員の皆さん



など、毎年元気
に顔を見せてく
れる仲間たちに
して、西川会長も体調が万全ではな
い中、笑顔で参加してください、そ
の姿にこちらが元気をもらいました。



★「第七十回 神奈川県身体障害者福祉大会」報告

車いす部会 斎藤 正枝

令和七年十二月十四日（日）、伊勢原市民文化会館・大ホールにおいて「第七十回 神奈川県身体障害者福祉大会」が開催されました。当日はあいにくの雨模様で冷え込みの厳しい朝となりましたが、会場には県内各地から多くの中間たちが集まりました。

午前十時三十分、定刻通りに式典が幕を開けました。まず、県身連の渡邊副会長による開会のことばに続き、物故者への黙祷が捧げられました。主催者挨拶では、神奈川県知事代理の首藤副知事、および県身連の内藤会長より、共生社会の実現に向けた力強いメッセージをいただきました。また、開催地である伊勢原市の萩原市長からは、心温まる歓迎の言葉を頂戴しました。

続く表彰式では、多年にわたり障害者福祉の向上に尽力された方々へ、知事表彰状および県身連会長表彰状・感謝状が贈呈されました。表彰者代表による感謝の言葉では、これまでの活動の歩みと支えてくれた方々への謝辞が述べられ、会場からは惜しみない拍手が送られました。

式典後半、伊勢原市身体障害者福祉協会の早乙女会長による「大会宣言



言」が高らかに行われ、参加者全員で決意を共にしました。

休憩を挟んで行われたアトラクションでは、創作和太鼓グループ「楽鼓（らつこ）」が登場。



迫力ある太鼓の音色と一糸乱れぬパフォーマンスは、雨の寒さを忘れさせるほど素晴らしく、会場全体が一休憩となつて楽しいひとときを過ごしました。

プログラムの終盤、いよいよ次回の開催地が発表されました。来年の地元である綾瀬市で令和八年十二月六日（日）に開催されることが決定いたしました。

次期開催地挨拶として、本来は西川会長が登壇する予定でしたが、体調不良により欠席されたため、金子副会長が代わって登壇し、次回のホスト役として「皆様を綾瀬でお迎えすることを楽しみにしています」と挨拶を行いました。

今回は七十回という節目にふさわしい充実した大会となり、来年の綾瀬市での大会の成功に向けた、会員一同さるに一丸となつて活動を盛り上げていく決意を新たにしました。

改修内容には、車いす用鑑賞スペースやトイレの設置、通路幅の確保などが含まれ、自治体の確認を経て基準を満たせば軽減措置が適用されます。字幕付き上映や音声ガイドなどソフト面の対応も進む中、今回の措置でハード面の整備も促進され、誰もが安心して映画を楽しめる環境づくりが期待されています。

針です。

音楽堂が対象で、現在は劇場や音楽堂を加える方

文化庁は、障害のある人も映画館を利用しやすくするため、バリアフリー改修を行った映画館を固定資産税などの軽減制度の対象に加える方向で検討を始めました。厚生労働省と連携し、令和八年度の税制改正要望に盛り込む方針です。綾瀬市障がい児者相談支援センター

- ・会場・綾瀬市保健福祉プラザ
- ・対象・市内在住の障がいのある方、またはその家族
- ・定員・三十名（先着順）
- ・主催・あやとも協議会 災害部会
- ・お問合せ・申込先 綾瀬市障がい児者相談支援センター
- FAX: 0467-53-9899
- 電話: 0467-77-1118



★【参加者募集】障がいのある方のための「災害カブエ」

「災害が起きたときの備えってどうしてる?」「自助するためには、必要な「もの」「こと」について、話し合いましょう。

今後は顧問として、引き続き会の活動を支えてまいる所存です。新体制への移行につきまして、皆さまのご理解と温かいご協力を心よりお願い申上げます。

西川 和朗